

原子力災害時避難円滑化モデル実証事業の取り組みを開始

新潟県は、柏崎市で豪雪地帯における避難円滑化対策の実証事業の取り組みを始めます。これは、原子力災害時に円滑な避難または一時移転を確保するために、交通誘導対策の強化や避難経路上の改善などを行うことにより、原子力防災対策の一層の充実・強化を図ることを目的としています。

1 事業内容

今年度から 3 カ年で次の実証事業に取り組みます。

(1) 交通誘導対策などの強化

- ア 即時避難区域 (PAZ) 内のバス避難集合場所、高浜コミュニティセンターなど計 27 カ所に屋外照明を設置予定
- イ 即時避難区域 (PAZ) 内のバス避難集合場所周辺、荒浜小学校など計 36 カ所に誘導案内板 (照明付き) を設置予定
- ウ 即時避難区域 (PAZ) 内のコミュニティセンターに蓄電池および可搬型 LED 照明を設置。設置箇所数などは、事業 1 年目に実現可能性調査を実施した上で決定

(2) 避難経路上の改善

- ア 即時避難区域 (PAZ) の主要な避難経路となる国道 8 号、116 号、積雪量が特に多い区域の国道 252 号、291 号など主要幹線道路に接続する市道部などのうち、南鯖石コミュニティセンター付近など計 12 カ所に LED 照明付き監視カメラを設置予定
- イ 市役所災害対策本部に監視カメラの映像収集サーバーを設置

(3) 効果の実証・普及策

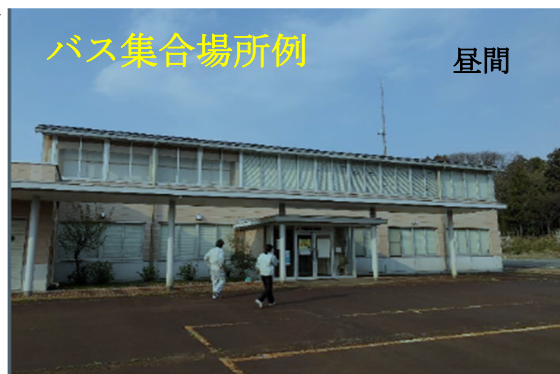
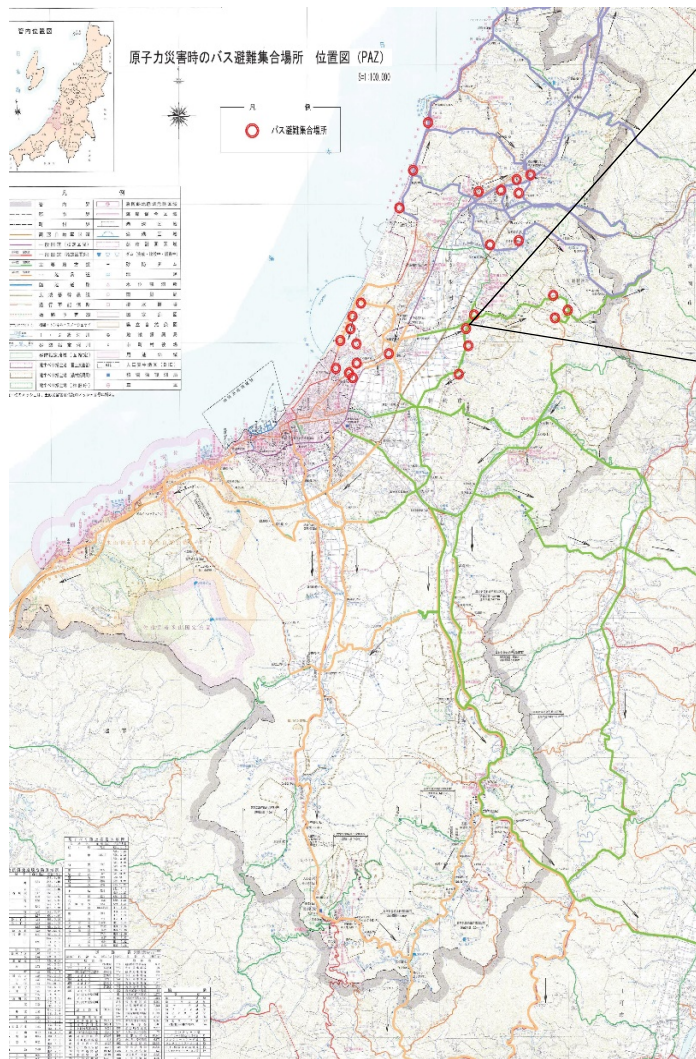
事業実施前と実施後の比較、効果測定

| 事業項目 | | 設置数など | 1 年目 | 2 年目 | 3 年目 |
|-------------|--------------------|------------|---------|-------|------|
| 交通誘導対策などの強化 | バス避難集合場所屋外照明設置 | 27 カ所 | 全て設置予定 | | |
| | 誘導案内板 (照明付き) 設置 | 36 カ所 (予定) | 全て設置予定 | | |
| | 蓄電池および可搬型 LED 照明設置 | 調査結果により決定 | 実現可能性調査 | 設計・設置 | 設置 |
| 避難経路上の改善 | LED 照明付き監視カメラ設置 | 12 カ所 (予定) | 全て設置予定 | | |
| | 映像収集サーバー設置 | 1 カ所 | 設計 | 設置 | |
| 効果の実証・普及策 | | | | | 効果測定 |

2 事業費

令和2（2020）年度から令和4（2022）年度の総事業費見込額 4.7億円
今年度の交付決定額 2億円

事業実施イメージ（例：バス集合場所屋外照明および誘導案内板（照明付き））



誘導案内板（照明付き）のイメージ



停電時に避難が円滑に進むように、
停電時でも点灯する照明を設置して
バス集合場所の目印にします。